



執銃徒歩訓練の経路変更に伴う幹部候補生の江田島市内の歩行について

◆幹部候補生学校執銃徒歩訓練概要

1 目的

部隊が所要の時機に、所要の地点に最良の状態に到着し、戦闘準備を整えることを演練する。

2 沿革及び情勢

海軍兵学校時代は、明治36年以降、毎年原村演習場で陸戦演習を行い、最終日に原村から呉までの約30kmを銃をかついで行進する訓練を実施しており、海上自衛隊幹部候補生学校もその伝統を引き継いで実施している。

現在の新型コロナウイルス感染防止対策上、今年度は江田島市内の自衛隊構内において陸戦訓練等を実施することとしているため、執銃徒歩訓練についても江田島市内において実施を計画 중이다。

3 日時

令和2年10月16日(金) 0600頃~1700頃

4 歩行経路

候校~切串(呉弾補所)~小用(官棧橋)~秋月峠~江南(呉造補所LCAC整備場)~真道山~候校
(上記行程を時計回り 行程:約38km) 細部は別図のとおり。

	起床/ 朝食/ 武器搬出	候補生学校 出発	呉弾補所 着/発	小用官棧橋 着/発	LCAC 整備場 着/発	真道山 着/発	正門	1630 観閲行進 開始
1隊	0500	0600	0745/ 0800	0905/ 0920	1045/ 1145	1405/ 1420	1600	
2隊		0620	0805/ 0820	0925/ 0940	1105/ 1205	1425/ 1440	1620	

5 訓練参加予定者数

約370名(先発隊:約200名、後発隊:約180名)

江田島市内の予定経路

別図

